

獣害防護柵（ワイヤーメッシュ柵）の下部補強に直管パイプが有効

利用対象：獣害被害集落

獣の侵入防止のために設置したワイヤーメッシュ柵の線径が細いと、獣による柵下部の損傷が頻繁に発生します。そこで、直管パイプによる下部補強の効果を確認しました。



資材

- ・直管パイプ：直径 19.1 mm × 厚さ 1.2mm × 長さ 3660 mm スエジ加工してあると連結できて便利
- ・結束線：#21（直径 0.8 mm）×長さ 450 mm ステンレス等の防錆対応とする

工具

- ・ハッカー
- ・パイプカッター

直管パイプによるワイヤーメッシュ柵の下部補強方法

- ① 直径 19.1mm の直管パイプを柵の地際部に設置する。
- ② 直管パイプは高くても地面から 15 cm以内の高さに設置する。
- ③ ハッカーを使い、結束線（#21）で直管パイプを支柱及び柵の複数箇所と結束する。結束線は防錆対応の材質とする。

注) ワイヤーメッシュ柵の溶接（縦線と横線の交点）が外れていたり、線が押し曲げられていたりする場合は、直管パイプを設置する前に別途補修しておく必要がある。

直管パイプによる下部補強に要する資材費

資材名	規格	単位	単価 (円)	m単価 (円/m)
直管パイプ	Φ 19.1mm × 1.2mm × 3660mm	本	398	108.7
ステンレス結束線	#21 (Φ 0.8mm) × 450mm	束	400	41.5
計				150.2

直管パイプによる下部補強の効果

柵のタイプ	調査距離 (m)	損傷箇所数 (100m当たり)		
		上部	下部	全体
A (3.2mm × 下部補強無 (n=7))	5,770	3.3	6.3	9.6
B (3.2mm × 下部補強有 (n=6))	5,390	2.4	0.7	3.1
C (4.0mm × 下部補強無 (n=5))	6,112	0.1	1.3	1.4
D (5.0mm × 下部補強有 (n=4))	4,634	0.1	0.1	0.2

線径が同じ 3.2 mmでも直管パイプで下部補強した B は下部補強の無い A と比較して、下部の損傷箇所数が 1/9 程度でした。

A は H21,22 設置、B は H23 設置、C は H23,24 設置、D は H23 設置。
上部損傷箇所数は柵の高さも影響していると考えられる。A,B は高さ約 170cm、C,D は高さ約 200cm

お問い合わせ先	地域連携研究課 鬼頭敦史、山端直人 電話 0598-42-6356 中央農業改良普及センター 宇野 敦善 電話 0598-42-6323
参考になる資料	三重農研HP : http://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm